

平成27年度 政務調査費 先進都市調査報告書

会派名	市政協同
議員名	我妻静夫・古澤孝市・徳中嗣史・金濱元一・岡田健一・南川達彦 黒光ひさ・鈴木和彦・早川昇三
調査実施年月日	平成28年2月16日(火)
調査先 自治体名等	北海道 函館市 子ども未来部 ・ 経済部
調査項目	1. 子ども医療助成制度について 2. 大門キッズスタジアムについて
調査目的	1. 子ども医療助成制度の概要について 2. 大門キッズスタジアムの概要について
報告内容 実施したこと	1 視察先(市町村)の概要 人口 : 266, 117 人(H27. 10. 1現在) 行政面積 : 677. 86 km ² 2 視察内容 1. 子ども医療助成制度について 2. 大門キッズスタジアムの概要について
感想 (まとめ) 本市へ生かせること等	<p>1. 子ども医療助成制度について</p> <p>函館市子ども医療助成制度は、子どもの医療費の一部をその保護者に助成することにより、子どもの健全な育成と福祉の増進を図るとともに、少子化対策として子育て家庭の経済的負担の軽減を図ることを目的として事業に取り組んでいます。事業の概要については下記のとおりとなっています。</p> <p>(1)事業の概要</p> <p>①対象者 0歳～中学校卒業時までの子ども(15歳に達した最初の3月31日まで)ただし、生活保護受給者、児童福祉施設入所児童等は除く。</p> <p>②助成内容 医療保険各法の医療給付額から自己負担分を除いた金額。入院費、通院日、調剤、訪問看護、柔道整復、補装具等の費用。</p> <p>③自己負担額 3歳未満 : 初診時一部負担。医療580円。歯科510円。薬代は無料。 3歳以上 : 非課税世帯 3歳未満と同様 課税世帯 医療の1割(月額上限額あり) 通院 12, 000円 入院44, 400円</p> <p>④所得制限 児童手当法施行令第11条において準備する同令第1条の規定による額。扶養人数0人、所得額622万円、以後扶養1人につき38万円加算。</p> <p>⑤助成方法 函館市および渡島管内の医療機関では子ども医療費受給者証を提示することで助成を受けることが出来る。</p> <p>(2)事業に至った経過</p> <p>昭和48年 6月 乳幼児医療費助成制度を創設。3歳未満までを対象。 昭和54年 1月 給付範囲を入院のみと6歳未満に拡大。 平成14年10月 所得制限尾導入と初診時一部負担金の助成廃止。 平成16年10月 3歳以上の課税世帯原則1割負担の導入。 給付範囲を通院6歳未満に拡大。 平成20年 4月 給付範囲を入院・通院ともに小学校卒業まで拡大。 平成24年 4月 給付範囲を入院・通院ともに中学校卒業まで拡大。</p>

(3)事業実施までのスケジュール 平成24年4月中学校卒業まで拡大時。
平成23年 6月 医師会へ拡大内容等の説明。
12月 条例の可決。
平成24年 1月 対象世帯へ申請書の配布。
2月 各病院・医院へ拡大周知のポスターおよび文書の配布。
3月 対象者へ子ども医療費受給者証を送付。
4月 事業拡大開始。

(4)事業対象児童数(受給者数)

平成26年度実績	22,940人		
内訳 0歳～2歳	4,595人	3歳～6歳	5,122人
小学生	8,644人	中学生	4,557人

(5)事業費

平成26年度実績

医療費	505,283千円		
内訳 道補助金	129,262千円	その他	50,433千円
一般財源	325,588千円		
事務費	72,006千円		
内訳 道補助金	1,890千円	一般財源	70,116千円
事業費全体	577,289千円		

<市単独事業分> 小学生の通院および中学生の通院・入院

医療費	204,309千円		
事務費	30,916千円	合計	235,225千円

(6)成果と課題

子育ての経済的な支援策として医療費の軽減を図り少子化対策とし、市民や議会での評価も高く、その目的は達成していると考えている。今後の課題として、さらなる給付範囲の拡大と自己負担の軽減が市民団体等から要望されているが、財政的な負担増となることもあり、慎重な対応が必要と考えている。

(7)医療機関との連携

事業拡大前に函館市医師会に対して事業内容の説明と理解を図るため、医師会会長および理事者へ事前説明を行い、事業の協力を依頼し了承を得た。対象年齢拡大のポスターを作製し、函館市内全医療機関へ配布することで各医療機関への周知を図った。

(8)今後の事業展開について

対象年齢の拡大や、自己負担額の軽減等について要望はあるが、当面は現制度を維持していくこととしている。

所感:子ども医療費助成制度は本市においても強い要望があります。今回函館市の子ども医療費助成制度について勉強をしましたが課題として財政的な負担が挙げられておりましたことから本市の取り組みについては国や道の動きをみて慎重に取り組んでいきたいと思ひます。

2. 大門キッズスタジアムについて

大門キッズスタジアムは、中心市街地の活性化と賑わいおよび親子のコミュニケーションを図る場の創出を目的に平成22年度から実施している事業で、現在の棒二森屋アネック6階には平成25年度から開設している。

(1)施設内容

①場所:棒二森屋 6F ②面積:678㎡
③遊具:エア遊具、滑り台、サイバーホイール、ボールプール
知育玩具、タッチディスプレイ PC 等

感想 (まとめ)
本市へ生かせること等

④設備:授乳室、おむつ交換代、調乳機、休憩・飲食スペース
防犯カメラ等

(2)休館日/開館時間

①休館日:毎月第2水曜日、12月31日、1月1日

②開館時間:10:00~18:00

(12:00と15:00イベント開催、清掃点検)

(3)入館料

①子供:1回:300円、半日間券:1,500円、年間券:3,000円

②大人:無料

(4)事業費

①運營業務委託費:30,241千円(人件費、遊具・設備リース料、
施設管理費等)

委託先:㈱NAアーバンデベロップメント

②フロア賃借料:9,000千円(@750千円×12カ月)

(5)入館者数/売上

①入館者数:68,706人(子供:33,785人、大人:34,921人)

②売上金額:8,935,800円

当日券:27,016枚(8,104,800円)

半年間券:446枚(669,000円)

年間券:54枚(162,000円)

(6)事業経過

①平成22~23年度

・事業区分:ふるさと雇用再生特別対策事業(厚生労働省)

・実施場所:旧和光ビル7階

②平成24年度

・事業区分:緊急雇用創出推進事業(厚生労働省)

・実施場所:旧和光ビル7階

③平成25~27年度

・事業区分:函館市単独事業

・実施場所:(H25年4月~H25年5月)旧和光ビル7階

(H25年6月~H28年3月)棒二森屋アネックス7階

(7)今後の予定

建設中の市街地再開発ビル(キラリス函館)の4階に公の施設として
「はこだてキッズプラザ」を整備し、「大門キッズスタジアム」の機能を継
承するとともに、託児室や子育て相談窓口を整備する。

・平成28年9月まで:大門キッズスタジアムの実施(棒二森屋アネックス)

・平成28年10月:はこだてキッズプラザ

所感:大門キッズスタジアムは、中心市街地の活性化と賑わい、親と子の
コミュニケーションを図る場の創出として実施している事業で、年間を
通じて子どもと保護者が遊ぶことが出来る施設です。また、授乳室や
おむつ交換代、調乳機、休憩・飲食スペース、防犯カメラ等も備え付け
られています。さらには育児に関する情報交換や交流の場ともなっ
ており大変参考になりました。現在本市では複合公共施設の建設を予定
しており、サンキッズの機能も入る予定となっていますので函館市の取
り組みを参考にして行きたいと思います。

感想(まとめ)

本市へ生かせること等